

## 平成30年度計画護衛艦2番艦「くまの」 引渡式・自衛艦旗授与式

令和4年3月22日（火）、岡山県玉野市に所在する三菱重工マリタイムシステムズ株式会社にて、護衛艦「くまの」が海上自衛隊に引き渡され、これに続き自衛艦旗を授与された同艦は、初代艦長櫻井敦2等海佐の指揮の下、配備先である横須賀に向け出港しました。

同艦は、海上自衛隊護衛艦として初めてガスタービン主機とディーゼル主機を組み合わせた推進方式であるCODAGを採用した平成30年度に計画された「もがみ」型護衛艦の2番艦であり、基準排水量3,900トン、全長132.5メートル、最大幅16メートル、深さ9メートル、速力30ノット以上の最新鋭の護衛艦です。

なお、同艦は、令和元年10月起工、令和2年11月進水、その後ぎ装工事（各種機器等の搭載）を行い、海上公試を経て、今般就役したものですが、この間、九州防衛局長崎防衛支局及び中国四国防衛局玉野防衛事務所は、建造工事の監督及び検査を担当し、同艦の完成に深く関わりました。



▲自衛艦旗授与式



▲護衛艦「くまの」に乗艦する隊員



▲自衛艦旗掲揚



▲出港する護衛艦「くまの」